

平成29年白川町議会第1回定例会会議録（第4日）

1. 応招年月日 平成29年3月17日（金）午後3時00分 白川町役場 議場

2. 本日の会議に付した事件

日程第1 会議録署名者の指名

日程第2 議第1号 平成29年度白川町一般会計予算

議第2号 平成29年度白川町国民健康保険特別会計予算

議第3号 平成29年度白川町簡易水道特別会計予算

議第4号 平成29年度白川町地域振興券交付事業特別会計
予算

議第5号 平成29年度白川町介護保険特別会計予算

議第6号 平成29年度白川町後期高齢者医療特別会計予算

日程第3 諮問第1号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることにつ
いて

諮問第2号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることにつ
いて

日程第4 発議第1号 地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意
見書について

日程第5 閉会中における議会運営委員会の継続調査について

3. 出席議員 1番 藤井宏之君、 2番 服部圭子君、 3番 今井昌平君、
4番 嶋田有康君、 5番 渡邊昌俊君、 6番 鈴木正次郎君、
7番 細江茂樹君、 8番 安江孝弘君、 9番 加藤邦之君

4. 欠席議員 なし（全員出席）

5. 説明のために出席した者の職氏名

町長	横家敏昭君、	副町長	佐藤滋君、
教育長	額額政昭君、	総務課長	今井智也君、
企画課長	佐伯正貴君、	町民課長	安江寿一君、
包括推進係長	三尾三和子君、	農林課長	伊佐治優君、
建設環境課長	今井俊君、	教育課長	嶋崎恒典君、
会計管理者	安江文郎君		

6. 職務のために出席した者

事務局長	杉山哉史君、	書記	藤井沙弥香君
書記	今井由美君		

7. 会議の経過

（議長 9番 加藤邦之君）

- 議 長 皆さん、こんにちは。県立高校の合格発表が昨日あったようで、昔は電報で桜咲くですか、と桜散るとかありましたけれども、そんな時代も過ぎまして携帯電話の時代でありますので、合否も携帯電話ですということですが、桜というのは歌にもなりますし、季語にも良く使われますので、本定例会も最終日の予定でありますので、議会の皆様のご協力を得まして、良い締めくくりができますことをお願い申し上げまして、はじめさせていただきますと思います。

なお、本日の会議中、広報担当職員による写真撮影を許可しておりますので、ご承知おきください。

- 議 長 ただいまの出席議員は全員であります。よって会議は成立しました。

- 議 長 ただいまから本日の会議を開きます。

◇日程第1 会議録署名者の指名

- 議 長 日程第1「会議録署名者の指名」を行います。

- 議 長 会議録署名者は、白川町議会会議規則第119条の規定により、議長において、3番 今井昌平君、4番 嶋田有康君を指名いたします。

◇日程第2 議第1号 平成29年度白川町一般会計予算

議第2号 平成29年度白川町国民健康保険特別会計予算

議第3号 平成29年度白川町簡易水道特別会計予算

議第4号 平成29年度白川町地域振興券交付事業特別会計
算

議第5号 平成29年度白川町介護保険特別会計予算

議第6号 平成29年度白川町後期高齢者医療特別会計予算

- 議 長 日程第2 議第1号「平成29年度白川町一般会計予算」、議第2号「平成29年度白川町国民健康保険特別会計予算」、議第3号「平成29年度白川町簡易水道特別会計予算」、議第4号「平成29年度白川町地域振興券交付事業特別会計予算」、議第5号「平成29年度白川町介護保険特別会計予算」、議第6号「平成29年度白川町後期高齢者医療特別会計予算」、以上6件については、去る3月10日の本会議において、予算審査常任委員会にその審査を付託しておりますので、委員会の審査結果について、委員長の報告を求めます。

予算審査常任委員会委員長 今井昌平君。

(予算審査常任委員会委員長 今井昌平君 登壇)

- 予算審査委員長 それでは、白川町議会予算審査常任委員会議案審査報告をいたします。

予算審査常任委員会に付託された、平成29年度白川町一般会計予算、平成29年度白川町国民健康保険特別会計予算、平成29年度白川町簡易水道

特別会計予算、平成29年度白川町地域振興券交付事業特別会計予算、平成29年度白川町介護保険特別会計予算及び平成29年度白川町後期高齢者医療特別会計予算について、審査の結果を報告します。

本委員会は、3月13日から14日の2日間にわたり、執行部から詳細な説明を受け、活発かつ慎重な審議を行った結果、委員全員の賛成をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。本町の当初予算は、一般会計60億3千万円で前年対比1.2%増、5つの特別会計合計は31億540万円です。1.4%減、総額では91億3,540万円となり0.3%の増となっています。

昨年1月に「白川町まち・ひと・しごと創生総合戦略」が策定され、今年度からの地方創生に向けた取組みが進められていますが、その成果は一朝一夕に現れるものではなく、中山間地域を取りまく状況は依然として大変厳しく、本町においても昨年1年間で240人弱の人口減となり、人口減少と少子高齢化が加速しています。そのような中、今年度は、移住・交流サポートセンターの「空き家バンク」を通じて、14世帯24人の方が本町に移住されたり、地域おこし協力隊の隊員が定着したりと、徐々に成果が現れてきており、今後も結婚対策や子育て支援と合わせて、少しでも人口減少を食い止めていかなければなりません。

町の基幹産業である農林業や木材産業では、農林業をとりまく環境が依然として厳しい中、お茶の販路拡大や集落営農組織の強化などに取り組むとともに、国や県の制度を最大限活用し、その振興が図られようとしています。また、道路改良と学校施設整備に多額の予算が配分されていることを評価し、総合的かつ計画的に住民生活の向上に向けた事業の推進を望むものであります。

横家町長におかれましては、先の本会議において次期町長選に再選を目指して出馬されることを表明されました。町長が掲げられる「みんなでやろまいか」のまちづくりは、まだまだ道半ばであり、29年度は横家町制1期目の総括であると同時に、さらなる白川町創生に邁進する年でもあります。審議の中で出されました意見や提案について検討するとともに、町民の参画を促し、対話と協働の場を持ちながら、様々な事業を効果的かつ効率的に推進されるようお願いいたします。詳細につきましては、議長に提出しました報告書によりご承知願うこととし、次の審査意見を付して審査報告といたします。

審 査 意 見

1. 住宅取得等支援事業補助金については、町民の転出を食い止めるための補助を追加するなど、町内在住者に対する不公平感を招かないよう制度の

見直しをされたい。

2. 消防詰所のトイレについて、各分団の基幹詰所の洋式化を図るなど、時代に即した環境整備に努められたい。

3. 茶の販路拡大事業が展開されているが、取り組みが始まったばかりであり生産者に対するメリットと費用対効果がなかなか感じられないのが現状である。今後、十分な効果が上がるよう努力されたい。

4. 間伐等の森林施業量が減少している。森林組合に対する指導を強化し、森林整備の促進と林業従事者の育成に努められたい。

5. 各施設に対する補助金の積算根拠を明確にし、適正な補助執行に努められたい。

以上を申し述べまして、予算審査常任委員会の議案審査報告とさせていただきます。

○ 議 長 委員長に対する質疑は省略し、討論を行います。
まず、本案に対して反対の討論を許します。
(「なし」の声あり)

○ 議 長 次に、本案に賛成の討論を許します。
はい、2番議員。
(2番 服部圭子君 登壇)

○ 2 番 私は、平成29年度の予算全般に対し、賛成の立場で討論いたします。
本予算は2015年より地方創生事業に始まり、地域おこし協力隊の受け入れ、お茶の輸出事業に取り組み、みんなでやろまいかという町民参画のまちづくりの芽が出たところだと思います。それを更に充実させるため、随所に予算が組み込まれているものと認識できました。特に防災について、防災士の養成に地震対応の参加型訓練、地域の防災活動の奨励、公民館の非常品・備蓄など、昨年予算に上乗せした充実な予算が組み込まれていました。その他、集落支援員の配置、ホームページのリニューアル、町道の新設改良費用の増額、住宅改造計画の着手、給食の町内産のお米の使用、水道収益率の向上による効率化の更なる実行、林業では、県とのパイプを活かした広域連携事業の計画、農業では農業振興と移住者の就農支援のための拠点づくり事業の実施、野菜を食べよう、禁煙の推進による町民の健康づくりなどを評価いたします。

願うことを4つ挙げさせていただきます。1点目は、ここ数年、新採用の職員が多く、また協力隊も新たに募集しています。これらの若者がこの町に根付き、能力を發揮し、担い手となってもらうために幅広い実践的研修の機会をしっかりと設けること。職員のメンタルケアのための町外の専

門家による対応を早急に講じる必要があると思います。

2点目。平成28年4月から、障害者差別解消法も施行されました。障害者がそれゆえに差別されない政策を一層推し進めていかななくてはならないと思います。美濃加茂の支援学校に通学する生徒たちの保護者の送迎負担は、少数ゆえに本当の悩みが届いていないのではないのでしょうか。また、足がなく、タクシーではお金がかかるという交通弱者への公共交通も、一刻も早く始めるべきです。

3点目は、予算の中に子供の遊び場を主張する政策が見えません。子供を心行くまで遊ばせたいが、子供が伸び伸び遊べる公園がなく、町外の施設を利用している親御さんたちがたくさんいます。子ども議会でもそんな要望が出たと聞きました。子供や子育て世代がこの町に住んで良かったと思えるために、何としても手を打たねばならないことであり、スピーディな対応を願うところです。大人の遊び場以上に、遊び場は子どもたちの成長の栄養なのです。

4点目は、農業者の学び合い、励まし合いの機会を持ち、より健康な人や土や社会を育てる政策を実行してほしいものです。身土不二、医食同源といった言葉の意味を、農業者がもう一度自覚することが子孫に残せる農村の姿だと思います。

さて、町長の提案説明で宝探しによる地域活性化の推進の鍵は、意見の違いを認め合うことだと示されました。予算の各所で話し合いや会議に視点を置き、町民からの提案を大切に進めようとされています。また、担い手養成講座では、町民と行政が一緒にするまちづくり会議のスキルを身につけた人が要請されています。その中で、講師が伝えるまちの活性化が進む会議のポイントは2点。1、会議のメンバーは男女半々で、町内外または地域内外の人で、町や地域のことを話し合うこと。2、いつも同じロの字型やコの字型の机を配置した会議ではなく、ホワイトボード会議や、テーブル式の会議にすると良いと学びました。テーマをかめる話し合いの技術です。平成29年度予算編成が実を結び、白川町に根付く若者が増え、町民と行政がともに満足する結果を出せるには、計画段階からいかに深く掘り下げる会議が持てていくかが鍵だと思います。目標やテーマをより具体化し、情報と情熱を伴った会議を進めてください。みんなでやろまいか、そんな前に目標を具体化して、皆が先の見通しを持てるように進めていただきたいと思います。探し出した宝に暖かい風を送り、関わる人が一丸となってまちづくりを実行できるようお願いし、平成29年度予算に対する賛成討論といたします。

○ 議 長 では、次に5番議員。渡邊昌俊君。

(5番 渡邊昌俊君 登壇)

私は、平成29年度白川町一般会計予算及び各特別会計予算について、賛成の立場で討論をいたします。

少子高齢化と人口減少が今、全国の地方で起きております。当白川町においても、その現象が顕著に現れ、町行政として今やるべき課題が山積しております。白川町はこれから5年後、10年後、50年後を見据え、持続可能な地域づくり、まちづくりを考え、今やるべきことは何かを考えた施策はと思いながら、平成29年度予算を審議いたしました。限られた厳しい財政の中で、新年度予算は、町長はじめ職員の皆さんも英知を結集され、国の地方創生拠点整備事業を中心に、重点ポイントを盛り込んだ施策であると評価いたします。

特に主な新事業として、地域コミュニティ活動の推進施策に、しらかわ人育成・支援体制構築事業として、白川魅力発見塾企画委託、塾生プロジェクトおよび事業研究交付金と、まちづくりの担い手養成講座に1,409万円、また集落支援員事業として、4人の集落支援員活動費に1,300万円。地場産業の活性化を目指して、東濃ヒノキと白川茶の振興政策とし、作業振興対策事業も白川茶販路開拓支援事業等に3,084万円。林業の振興政策については、循環型森林社会構築事業として、白川ひのき新製品開発事業等に1,071万円。未来を担う子供たちの育成施策では、小中学校の洋式トイレ化への改修に7,957万円。給食センター運営事業の給食調理業務等民間委託等に41,732万円と、まさに今なすべき課題に積極的に取り組んでおられることを評価いたします。

特別会計では、社会保障費の充実において、新年度も健康づくり推進事業や精神保健事業、がん検診事業等今までの施策効果により、国保会計、介護保険会計とも前年を下回る予算計画どおり執行できることを期待いたします。

簡易水道特別会計については、各施設の老朽化による施設建設改良事業費が今後、毎年続くことが予想され、計画的な事業遂行を期待し、各特別会計予算について評価をいたします。

以上、平成29年度の各予算について私の思いを申し述べましたが、全体において、限られた予算の中で、ソフト面、ハード面にも配慮され、国、県の各種制度を有効に利用されて予算編成されていることを認め、今後、堅実な町財政運営を執行されますことを申し上げ、賛成討論といたします。

○ 議 長 討論を終わります。採決します。

議第1号「平成29年度白川町一般会計予算」に対する委員長の報告は可決であります。本件を委員長の報告のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

(起立全員)

○ 議長 起立全員であります。よって、議第1号「平成29年度白川町一般会計予算」は、委員長報告のとおり可決しました。

○ 議長 議第2号「平成29年度白川町国民健康保険特別会計予算」に対する委員長の報告は可決であります。本件を委員長の報告のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

(起立全員)

○ 議長 起立全員であります。よって、議第2号「平成29年度白川町国民健康保険特別会計予算」は、委員長報告のとおり可決しました。

○ 議長 議第3号「平成29年度白川町簡易水道特別会計予算」に対する委員長の報告は可決であります。本件を委員長の報告のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

(起立全員)

○ 議長 起立全員であります。よって、議第3号「平成29年度白川町簡易水道特別会計予算」は、委員長の報告のとおり可決しました。

○ 議長 議第4号「平成29年度白川町地域振興券交付事業特別会計予算」に対する委員長の報告は可決であります。本件を委員長の報告のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

(起立全員)

○ 議長 起立全員であります。よって、議第4号「平成29年度白川町地域振興券交付事業特別会計予算」は、委員長報告のとおり可決しました。

○ 議長 議第5号「平成29年度白川町介護保険特別会計予算」に対する委員長の報告は可決であります。本件を委員長の報告のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

(起立全員)

○ 議長 起立全員であります。よって、議第5号「平成29年度白川町介護保険特別会計予算」は、委員長報告のとおり可決しました。

○ 議長 議第6号「平成29年度白川町後期高齢者医療特別会計予算」に対する委員長の報告は可決であります。本件を委員長の報告のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

(起立全員)

○ 議長 起立全員であります。よって、議第6号「平成29年度白川町後期高齢者

医療特別会計予算」は、委員長報告のとおり可決しました。

◇日程第3 諮問第1号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

諮問第2号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

○ 議 長 日程第3 諮問第1号「人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて」、諮問第2号「人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて」以上2件を一括議題とします。

説明を求めます。町長。

(町長 横家敏昭君 登壇)

○ 町 長 諮問第1号「人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて」、諮問第2号「人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて」、議案及び提案説明を朗読し、説明した。

○ 議 長 説明が終わりました。本件は、人事案件でありますので、質疑、討論を省略し、ただちに採決したいと思います。

これにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○ 議 長 ご異議なしと認めます。よって、質疑、討論を省略し、ただちに採決します。

諮問第1号について、適任との意見を答申したいと思います。これにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○ 議 長 ご異議なしと認めます。よって、諮問第1号「人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて」は、適任として答申することに決定しました。

○ 議 長 次に、諮問第2号について、適任との意見を答申したいと思います。これにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○ 議 長 ご異議なしと認めます。よって、諮問第2号「人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて」は、適任として答申することに決定しました。

◇日程第4 発議第1号 地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書について

○ 議 長 日程第4 発議第1号「地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書について」を議題とします。

説明を求めます。細江茂樹君。

(7番 細江茂樹君 登壇)

- 7 番 発議第1号 地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書について、議案及び提案説明を朗読し、説明した。
- 議 長 説明が終わりました。質疑を許します。
(「なし」の声あり)
- 議 長 質疑を終わります。討論を行います。
(「賛成」の声あり)
- 議 長 討論を終わります。採決します。
発議第1号を原案のとおり承認することにご異議ありませんか。
(「異議なし」の声あり)
- 議 長 ご異議なしと認めます。よって、発議第1号「地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書について」は、原案のとおり承認しました。
◇日程第5 閉会中における議会運営委員会の継続調査について
- 議 長 日程第5「閉会中における議会運営委員会の継続調査について」を議題とします。
議会運営委員会から所管事務のうち、白川町議会会議規則第75条の規定によって、お手元に配布しました申し出書のとおり、閉会中における継続調査の申し出があります。
- 議 長 お諮りします。
委員長から申し出のとおり、閉会中における継続調査とすることにご異議ございませんか。
(「異議なし」の声あり)
- 議 長 ご異議なしと認めます。
よって、委員長から申し出のとおり、閉会中における継続調査とすることに決しました。
- 議 長 以上をもって、本定例会に付議された案件は全て議了しました。
- 議 長 お諮りします。
今期定例会は、本日をもって閉会したいと思います。これにご異議ございませんか。
(「異議なし」の声あり)
- 議 長 ご異議なしと認めます。よって本定例会は本日をもって閉会とします。
ここで、町長から発言の許可を求められていますので、これを許します。
(町長 横家敏昭君 登壇)
- 町 長 今日、大野台から御岳山を眺めますと、水蒸気が本当にまっすぐ立ち上がっておりまして、いよいよ春が近まったなという感じもするわけでございます。

ただ今は、提出しました案件すべてお認めをいただきました。その審査の過程で出ました意見、あるいは提案等は丁寧に対応させていただくつもりでありますので、よろしくお願いを申し上げます。

今年の1月のことでございましたんですが、第7回の地方創生大賞という発表がございました。その発表の内容を見ておりますと、いずれも長年の経験の中、今回1年、2年のそういったものではなくて、本当に10年、20年と取り組まれたものが、地方創生大賞というふうに掲載しておりました。私どもの郡上市の芝桜の取り組みというのがこの地方では載っておったように記憶をしておるところでございます。

そんな中で、私ども今回予算を認めていただいたわけでございますが、本年度私どもの町で採用をいたしました新職員は13名になります。この13名という数字は、近年にない大勢の採用でございました。特に、経験が浅いわけでございますが、今後、今回お認めをいただきました予算執行に当たっても、職員の中でそれぞれが一丸となって助け合いながら町政の運営をしてまいる所存でございます。議員の皆さん方にも職員のご指導のほどをお願いを申し上げさせていただいて、閉会に当たってのごあいさつにさせていただきます。本当にありがとうございました。

- 議長 これをもって、平成29年白川町議会第1回定例会を閉会いたします。どうもご苦労さまでした。 (午後3時34分 了)

上記のとおり会議の次第を記載し、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

議 長

議 員

議 員